

園芸学科通信

第11号

■園芸学科第38期・第39期生合同による 後期選択講座「夏の樹木管理実習」を受講

講師 北村 正隆氏



平成28年度後期選択講座である「校外実習」夏の樹木管理実習を、園芸学科第38期生及び第39期生合同で実施しました。

今回の研修は、平成29年8月22日滋賀県大津市甲良町金屋にある「滋賀県立甲良養護学校」で行われました。この日の「夏の樹木管理実習」に参加した方は、講師に樹木医であり、校外実習場において、樹木の剪定や庭園の管理方法に定評のある、北村正隆先生をはじめ、レイカディア大学卒業が間近で、大学最後の校外実習となった38期生、そして39期生の中間でした。また、樹木管理の実習時には厳しく、優しく、指導してくれる米原校サポート隊のみなさん、J A東ひわく甲良養護学校に關係する皆さんが参加してくれました。

当日は、甲良養護学校へ集合し、現地で解散であったため、あらかじめ決めていたとおり、樹立などの道具類を車で運ぶことがグループになり、自動車に分乗して向かいました。

甲良養護学校正門前に集合し、個々に出入り確認を行った後、養護学校の校長先生の話を北村講師による「剪定作業」についての説明、作業にあたっての注意事項について、の連絡がありました。

いよいよ選定作業の開始です。あらかじめ別班指定を行った通り、作業場所に分かれ剪定作業に取り掛りました。

作業にかかる前に、甲良養護学校、校長先生の挨拶を受ける参加者



作業にかかる前に、北村先生から指導を受ける

わが園芸学科第39期生は、班ごとに分かれ、大きな樹木や目の前の灌木を相手に、ノコギリやハサミを使って選定作業を行いました。この日は、お盆を過ぎたにもかかわらず、夏の日差しがきつかったと強く、また蒸し暑い気象条件にもかかわらず、暑さをしのぎながら作業を進めました。

この日は、暑い日だったので、作業に当たっては熱中症対策などの体調管理に努めました。養護学校側からの配慮で、冷たいスイカや水菓子の提供もあり全員無事に何事もなく実習を終えることが出来ました。



須田地域活動委員長の司会で行われた地域活動報告会

■「クラス活動・報告会」 地域活動体験学習発表会

8月期のクラス活動は、レイカディア大学で学習する項目である「必修講座」(地域活動の企画・運営方法など)の実験を含め、なごの会の学習領域「地域活動体験学習」(地域活動を体験的に体験し、地域との繋がりを自らつくり、地域の力と共に取り組む力を身につけること)を、自分の課題に取り組みしてきたことを、クラス活動・報告会として開催しました。

園芸学科39期生全員が、平成28年10月から平成29年6月までの間に、地域



きました。剪定を終わった養護学校の周りは、すっきりとした樹木に囲まれて、良い環境のもと学校生活を送ることができた、ではと思いつながりつつありました。



レイカディア大学・米原校

で取り組んだ活動体験内容を、実施するたびに「地域活動体験学習実施予定表及び報告書」によって事務局に提出しています。今回は、各自が取り組んだ多くの体験報告内容から1項目を選んで発表しました。

報告会は、八月三十一日(木)の午後、米原公民館の会議室で行われました。報告会は、地域活動委員である須田進一さんと川崎勝さんの司会進行により、ひとり3分の持ち時間で発表しました。



- 1 13時から行われた発表会は、各自が熱心に取り組んだ内容で、必修講座の学習領域である「社会参加のうち地域活動体験学習」が意味する活動へ取り組み意欲が感じられました。
- 2 以下に、園芸学科39期生が取り組み報告した内容を掲載します。(敬称略)
- 3 今堀さき子・能登川園で花壇の植え付け
- 4 植え替え、手入れなどの整理
- 5 福地・康雄・田根地域づくり協議会で酒米づくりと酒製造、空き家の利用方法対策、ガーデン交流会の実施
- 6 上野 清治・甲良工務「心」で病院や福祉施設への家具製造、福祉施設見学
- 7 4宇野 賢一・三津ボランティアサークル「かつり」で草刈りや剪定、花壇の植栽、宇宮川で桜を植栽
- 8 大町千津子・多賀町社会福祉協議会の「こども食堂」でカシやオレンジを準備、給仕や後片付けで熱い思いを実施
- 9 桂田 芳明・彦根四番町スクエアで駐車場や公園の整備、花壇の花づくり
- 10 鎌田 一彦・津大崎「さくら守り」の会で桜並木周辺のこみ拾いや花枝の回収、害虫駆除や施肥作業
- 11 川崎 勝・里山保全活動団体「遊林会・川辺の森」で里山の自然環境を管理する活動、スギや杉の除去作業
- 12 川村喜八郎・長浜城歴史博物館で月刊友の会にたより及びチラシの仕分けと発送作業
- 13 北川 勝美・ひこね桜守の会で彦根城中堀付近の桜の開花前や開花後の施肥作業、桜の幹についた苔の除去作業
- 14 北村 佳治・伊吹山もりのひとの会で伊吹山固有種タンキナボの絶滅防止のため西洋タンキナボの除去作業
- 15 清水千恵子・能登川園で花壇づくりや門松づくり
- 16 杉村百合子・みどりの会「やすらぎハウス」で周辺環境の整備、生垣下の除草や花枝や徒長枝の剪定
- 17 須田 進一・彦根四番町スクエアで街路のプラントに花の植え替えや植樹
- 18 田中 正幸・みどりの会「ほおづき作業所」で剪定、整備、植え替え作業
- 19 ツツゲの掘り起こし、除草、施肥
- 20 廣田 茂・小田町家として活きた民家を整備し憩いの家として活かす
- 21 藤本 治・おしやべり喫茶「わ茶わ茶」で神社の神饌水でお茶を、無理せず、一緒におしやべりを楽しむ
- 22 前田 新一・岡山小学校で4年生を対象に電車を利用した琵琶湖を一周する行事に参加、5名の児童を引率
- 23 水原 弥一・滋賀県骨髄献血の輪を広げる会で骨髄移植を必要とする人に適するドナーが見つからない、ドナー登録者を募る説明員の養成研修に参加実践した
- 24 森 幸夫・特別養護老人ホームである「やまゆりの里」で玄関前駐車場横の樹木、生垣の剪定と枝の廃棄
- 25 山川平兵衛・教林坊で庭園の整備や生垣の剪定、刈り取った枝の処理

★園芸学科通信・番外取材編★ 草津校で開催の大学祭を訪ねて



米原校で行われた大学祭が終了した約1週間後、草津校でも「今一度」この時、この場所、この仲間、このチームに、大学祭が行われました。草津校の先輩からの誘いで行ってきた、大学祭の開催日は、3日間でしたが、8月3日の「ふれあいイベント」の日を訪ねました。

園芸学科、園芸学科で作成した作品を展示する会場、地域文化学科、健康づくり学科などが課題学習の成果を発表する会場や苔玉づくりや体力測定などの体験コーナーもあり、いづれの場所も大変な賑わいでした。ステージ演芸では、紙芝居・詩吟・楽器演奏・歌唱・江州音頭等の演目がありましたが、大いに盛り上っていました。来年も開催される大学祭の参考にできたのでは、?と思いつながりつつありました。

第39期園芸学科生全員が参加しての「地域活動体験学習」の発表は、1時間ほどで終わりました。一人1件の発表でしたが、一つの活動体験に複数で参加している人が多く、共同で参加した人は、発表者が終わった後にコメントするなど積極的な意見交換が行われ、大変有意義な報告会でした。

編集後記
平成29年8月31日発行「第39期・園芸学科通信第11号」をお届けします。

今回は、園芸学科38期及び39期生が合同で滋賀県立甲良養護学校の樹木管理実習を行いました。夏の暑い日差しが強い中、サボリ隊や学校関係者一同が樹木の剪定や環境整備、汗を流しながら、入学した頃より取り組んだ「地域活動体験学習」を、クラス活動の場で報告したことを取り上げました。